12 番の歌 エホバは賛美を受けるにふさわしい方

エホバのことをもっともっと知るには

*「あなたは父の神を知り，心を尽くして……神に仕えなさい」。*歴代第一 28:9

ポイント：エホバをよく知るとはどういうことで，大切なのはどうしてでしょうか。
どうすればエホバをよく知っていけるでしょうか。

1. エホバの知恵やスケールの大きさについて考えると，どんな気持ちになりますか。

エホバは誰よりも賢く知恵がある方で，人間には理解できないほどスケールの大きなことをします。そういうことを考えると，自分はエホバに比べてなんてちっぽけな存在なんだろう，という気持ちになります。使徒パウロもこう言っています。「ああ，神の祝福は何と豊かで，神の知恵と知識は何と深いのでしょう。神の裁きを知り抜くことも，神の道を知り尽くすことも決してできません」。（ロマ 11:33，34 ああ，神の祝福は何と豊かで，神の知恵と知識は何と深いのでしょう。神の裁きを知り抜くことも，神の道を知り尽くすことも決してできません。 34 「誰がエホバの考えを知るようになり，誰がその方の助言者となったでしょうか」。）

2. 私たちはエホバについてよく知ることができます。どうしてそう言えますか。

2 私たち人間にはエホバのことが全て分かるわけではありません。でも，エホバをよく知っていくことはできます。ダビデ王は息子のソロモンにこう言いました。「あなたは父の神を知り，心を尽くして……神に仕えなさい。……あなたが神を探し求めるなら，神を見つけられる」。（代一 28:9 そして，わが子ソロモン，あなたは父の神を知り，**心を尽くして喜びの(*進んでする)心で神に仕えなさい。エホバは全ての心を探り，考えの傾向を全て見極める**方だ。あなたが**神を探し求めるなら，神を見つけられる**が，**神を捨てるなら，神からいつまでも退けられる。**）使徒ヨハネも仲間のクリスチャンに，自分たちには「真実な方について知ることができるよう[な]洞察力」がある，と書きました。（ヨハ一 5:20 さらに，私たちが知っている通り，神の子が来て，私たちが真実な方について知ることができるように洞察力(d*知力)を与えてくださいました。そして私たちは，子であるイエス・キリストによって，真実な方と結び付いています。この方こそ真の神であり，永遠の命の源です。）イエスも「子が進んで父を啓示する者たち」はエホバについてよく知ることができるようになる，と言いました。（マタ 11:27 全てのものは父によって私に渡されています。子を本当に知っているのは父だけであり，**父を本当に知っているのは，子と，子が進んで父を啓示する者たちだけ**です。）

3. この記事ではどんなことを考えますか。

3 エホバに仕える私たちはみんな，これまでたくさんエホバについて学んできました。でも，エホバを「知る」ことに終わりはありません。（ヨハ 17:3 **永遠の命を得る**には，**唯一の真の神であるあなた**と，**あなたが遣わされたイエス・キリストのことを知る必要**があります。と注釈**のことを知る**: または，「についての知識を取り入れる」，「**のことを知り続ける**」。ギリシャ語動詞ギノースコーは，基本的に「知る」という意味。ここでは**現在時制**で，**継続的な行為**を表す。その語は，「誰かについての知識を取り入れる」，「誰かを知るようになる」，「誰かと親しくなる」という**過程を意味することがあり**，**すでに知っている人ともっと親しくなる努力を続ける**という考えを含むこともある。この文脈では，**神とキリストに関する知識を増やし**，**お二方への信頼を強める**ことによって，**神との個人的な関係を深める**ことを指す。そのためには，**その方とは誰か**を知ったりその**名前を知**ったりする**以上のことが必要。好き嫌いおよび価値観や基準を知ることも含まれる**ことになる。（ヨ一 2:3; 4:8）を参照。）どうすればエホバに喜んでもらえるか，どうしたらエホバをもっと信頼できるか，ずっと学んでいけます。この記事では，次の 3 つのことを考えます。エホバに長く仕えてきた人であっても，改めて考えたいことです。①**エホバをよく知るとは**どういうことなのか。②**それが大切なのは**どうしてか。③**どうすればエホバをよく知る**ことができるか。

エホバをよく知るとはどういうこと？

4. エホバをよく知るとはどういうことですか。

4 エホバをよく知るとはどういうことでしょうか。エホバがバビロンに流刑になっていたユダヤ人に言ったことから読み取れます。「彼らに私を知る心，私がエホバであることを知る心を与える」。（エレ 24:7 彼らに**私を知る心**，**私がエホバである**ことを**知る心**を与える。彼らは**私の民**となり，私は**彼らの神**となる。彼らは**心を尽くして私のもとに**戻る。）ここから，エホバを知ることには**心が関係**していることが分かります。流刑になっていたユダヤ人もエホバについてある程度知っていました。でもイスラエルに戻った後は，もっとエホバをよく知って心から好きになることが必要でした。ある参考文献にはこうあります。「**単に神を知る**ことと，神を**よく知り友情を育んでいく**ことには**大きな違い**がある。ちょうど，恋愛小説を**読む**ことと，実際に恋愛を**する**ことほど違っている」。それで，神を知るというのは，ただエホバという名前の神がいることを知るだけではありません。エホバがどれほど魅力的な方かをよく知るということです。

5. ヨシヤがしたことからすると，エホバをよく知るとはどういうことですか。

5 エホバをよく知るようになると，エホバの好き嫌いが分かってきて，それに合わせた行動を取れるようになっていきます。ヨシヤはまさにそうしました。聖書にはこうあります。「ヨシヤは治世の第 8 年，**まだ少年だった頃**，父祖ダビデの神に**仕え始め**た」。（代二 34:3 ヨシヤは**治世の第 8 年**，まだ少年だった頃，父祖ダビデの神に仕え始めた。**第 12 年**には，**高い場所，聖木，彫像，金属像**を**取り除いて**，ユダとエルサレムを**清め始めた**。）きっとヨシヤはエホバをよく知るためにたくさんのことを学んだはずです。でも，単に知識を頭に詰め込むだけではなく，学んで分かったエホバの気持ちに合わせて行動しました。貧しい人や弱い立場の人を助け，「公正と正義を守り」ました。それでエホバは「私を知るとはそういうこと」だと言って，ヨシヤを絶賛しました。（エレ 22:15，16 あなたは他の人より多く杉を使うことで，権力を示し続けるのか。あな

たの父親も食べて飲んだが，**公正と正義を守り，物事はうまく運んだ。** 16 彼は**苦しんでいる人や貧しい人の申し立てを弁護し，物事はうまく運**んだ。エホバはこう宣言する。『**私を知る**とはそういうことではないか。）

6. エホバを知れば知るほど，どうしたいと思うようになりますか。（詩編 9:10）

6 詩編 9:10 あなたの**名を知っている人**はあなたに**頼る。** エホバ，あなたはご自分に**導きを求める人を決して見捨てない。**を読む。エホバを知れば知るほど，エホバを信じて頼れるようになります。使徒パウロはまさにそうしていました。投獄され，死が近いことを悟った時，こう書いています。「私は……恥じてはいません。自分が信じてきた神を知って……いるからです」。（テモ二 1:12 それで私は**このような苦しみに遭**っていますが，そのことを**恥じてはいません。自分が信じてきた神を知**っており，**自分が神に託したもの**を**定めの日まで守っていただける**と**確信**しているからです。）パウロはそれまでの人生経験を通して，エホバがどんな方かをよく知っていました。それでエホバを 100 パーセント信頼することができました。命を落としたとしても，エホバが自分を忘れず，必ず生き返らせてくれると信じていました。

エホバをよく知るのが大切なのはどうして？

7. エホバに長く仕えていると，どんなことがあり得ますか。

7 聖書を学び始めたころ，エホバについて知っていくのはとても新鮮で楽しいものでした。でも時たつうちに，エホバを知ることに前ほど力を入れなくなってしまうことがあり得ます。どうしてでしょうか。聖書を読んでいる時や，集会で聖句が読まれる時，私たちは自分にどう役立てられるだろうかとか，この聖句を使って人をどんなふうに助けられるだろうか，ということを考えがちです。もちろん，そういう読み方をするのはいいことです。（テモ二 3:16，17 聖書全体は神の聖なる力(*)の導きによって書かれたもので，**教え，戒め，矯正し，正しいことに基づいて指導するのに役立ち**ます。 17 それにより，神に仕える人は**十分な能力を持つ**ことができ，あらゆる**良い活動を行う用意が完全に整い**ます。）でも聖書から学べるのはそういうことだけではありません。書かせたエホバがどんな方か，たくさん学べます。（詩 25:8-10 エホバは**善い方，正しい方。罪人に生き方を教える。** 9 **温厚な人を正しく歩むよう導く。 ご自分の道を温厚な人に教える。** 10 **エホバの全ての道は揺るぎない愛の表れ**であり，**信頼できる。 契約と教え**(*思い出させるもの)を**守る人にとって。**）それで，いつも次のように考えるのは大切です。「ここから**エホバについてどんなこと**が学べるだろう」。*「新世界訳聖書」の「初めて聖書を読む方へ」の質問 20 を見てください。（**聖書を読む時どんなことを心掛けるとよい**ですか？聖書を読みながら以下のことを考えましょう。①ここから**エホバ神についてどんなことが**分かるか、②この部分は**聖書の中心テーマとどう関係**しているか、③自分の**生活でこれをどのように役立て**られるか、④**人を支え励ますために**この言葉をどのように使えるか。）

8. エホバのことを知れば知るほど，どうなりますか。（詩編 73:24-28）

8 エホバのことを知れば知るほど，エホバのことをもっと好きになれます。聖書を読んだ後，ブロードキャスティングのマンスリープログラムを見た後，大会に行った後，**どんな気持ちに**なり

ますか。天のお父さんエホバの素晴らしさが身に染みて，爽やかな気持ちになりませんか。うれしくなって，エホバのために何かしたいという思いになります。「神は私の**心の岩**，永遠に私の**全て**」と歌った詩編作者と同じような気持ちになります。（詩編 73:24-28 あなたは**助言**して**導い**てくださり，そうして**私が栄光を受けるように**してくださる。25 私を助けてくださる方が天にほかにいるか。あなたがいてくださるので，地上に望むものは何もない。26 私の体と心が衰えようとも，神は私の心の岩，永遠に私の全て(*私に与えられた分)。27 間違いなく，あなたから離れている人たちは滅びる。あなたのもとから去る不誠実な人を皆，あなたは消し去る。28 私にとって，神に近づくのは良いことだ。私は，主権者である主エホバのもとに避難した。その方の行い全てを知らせるために。を読む。）エホバのことを**よく知っていくと**，エホバという**最高の友達**がいることがどれほどありがたいか，よく分かるようになります。

9. いつもエホバ「のことを考え」るようにすると，私たちの行動はどう変わっていきますか。

9 聖書によると，私たちはいつも「神のことを考え」る必要があります。それはつまり，いつもエホバの顔を思い浮かべて，自分がこれをしたらエホバはどんな気持ちになるだろうか，と考えるということです。そうしていると，エホバに喜んでもらえる行動が取りやすくなります。（格 3:5，6 **心を尽くしてエホバに頼れ。自分の考え(*理解)に頼ってはならない。6 どんな道を行く時にも神のことを考えよ。そうすれば神が真っすぐに進ませてくださる。**）例えで考えてみましょう。既婚の兄弟姉妹は，夫や妻の写真を目につく所に飾ることがよくあります。机の上に置いたり，スマホの壁紙にしたりします。そうすると，夫や妻がどれほどかけがえのない存在かを思い出すことができ，相手を喜ばせたい，悲しませるようなことはしたくない，という気持ちになれます。同じように，私たちがいつもエホバの顔を思い浮かべるようにすれば，エホバに笑顔になってもらいたいという気持ちが強くなっていきます。（詩 19:13，14 **出過ぎたことをしないよう**私をとどめてください。**厚かましくならせないで**ください。私が**完全になるため，あからさまな罪(*多くの違反)を犯さないため**です。14 **私の岩，私の救い主**(d*を買い戻す方)エホバ，**私の口の言葉と心の黙想を喜んでくださいますように。**）

10. エホバについて学んでいくと，どんな人になれますか。

10 私たちは神に似た者として造られているので，エホバのような性格を身に付けていくポテンシャルを持っています。（創 1:26 神は言った。「**私たちに似た者として人を造ろう。**そして人に，海の魚，空を飛ぶ生き物，家畜，地面を動く**あらゆる生き物を治めさせ，地球を世話させよう**」）エホバの性格について学べば学ぶほど，どんなふうにエホバに見習うといいかが分かってきます。イエスは，頭でっかちで，人間性を磨いていなかった，律法学者とパリサイ派の人たちを非難しました。彼らが「律法の中のもっと重大な事柄，すなわち公正と憐れみと忠実を無視していた」からです。（マタ 23:23 偽善者である律法学者とパリサイ派の人たち，あなた方には災いがあります！ミント，ディル，クミンの 10 分の 1 を納めながら，律法の中のもっと重大な事柄，すなわち公正と憐れみと忠実(*信仰)を無視しているからです。**10 分の 1 を納める必要はありますが，後者を無視すべきではありません。**）私たちはそうなりたくありません。ルールや原則の**根底**にある**エホバの考えや気持ち**をつかめるようでありたいものです。そうすると，エホバに見習

った人間性を身に付けることができます。（ヨハ一 4:8 愛さない人は，神をよく知りません。神は愛だからです，11 愛する皆さん，神がこのように私たちを愛してくださったのですから，私たちも愛し合わなければなりません。）

どうすればエホバをよく知ることができる？

11. あなたは誰からエホバについて教えてもらいましたか。

11 あなたは誰からエホバについて教えてもらいましたか。クリスチャンの家庭で育って，親に教えてもらった人がいます。聖書レッスンで学んだ人もいます。でも，どちらにしても共通していることがあります。①聖書からエホバがどんな方かを学んだということ，そして②エホバが造ったものからエホバについて学んだということです。レッスンを受けていた人であれば，「いつまでも幸せに暮らせます」などのツールも活用したはずです。*「いつまでも幸せに暮らせます」の本のレッスン 7 のポイント 5-7（5. エホバは魅力的な性格を持つ神、6. エホバは人間を大切に思っている、7. エホバの性格は自然界に表れている）をご覧ください。（ネヘ 8:8 彼らは真の神の律法の書を朗読し続け，分かりやすく説明して意味を教えた。読まれた箇所を理解できるよう，民を助けたのである。使徒 14:17 それでも，善いことを行って，ご自分のことを明らかにしていました。天からの雨と実りの季節を与え，食物を豊かに供給して人々の心を喜びで満たしたのです」。）大事なのは，エホバについて*学び続ける*ことです。そのためにできることがあります。

12-13. 聖書は，読み方次第でエホバのいろんな魅力に気付ける本です。どうしてそう言えますか。（エレミヤ 39:15-18）（挿絵も参照。）

12 まず，聖書を読んで学び続けます。聖句の中には，エホバの性格について説明されているものがあります。（出 34:6，7 エホバはモーセの前を通り過ぎつつ，こう宣言した。「エホバ，エホバ，憐れみ深く，思いやり(*慈しみ)がある神，すぐに怒らず，揺るぎない愛(*愛ある親切)に満ち，常に信頼できる(*真実を語る)。 7 揺るぎない愛を幾千代までも示し，過ちと違反と罪を許す。しかし，罪がある人を処罰しないことは決してなく，父の過ちに対する処罰を子や孫やひ孫に及ぼす」。）でも，人間模様が描かれている聖句もたくさんあります。そういう記録からも，エホバについて学べることが必ずあるものです。

13 例えば，エレミヤ 38 章 6 から 13 節それで高官たちはエレミヤを捕らえ，「監視の庭」にある，王の子(c*王家の一員という意味かもしれない)マルキヤの水ためにに入れた。縄を使ってエレミヤを下ろしたのである。水ためには水がなく，泥があるだけで，エレミヤは泥の中に沈み始めた。 7 王の家(*宮殿)にいたエチオピア人の宦官(*廷臣)エベド･メレクは，エレミヤが水ために入れられたことを聞いた。その時，王は「ベニヤミンの門」の所に座っていた。 8 そこでエベド･メレクは王の家(*宮殿)から出て，王に話した。 9 「王よ，あの人たちは預言者エレミヤに非道なことをしました。水ために投げ込んだのです。彼はそこで飢え死にしてしまうでしょう。もう都市にパンは残っていないからです」。 10 すると王はエチオピア人エベド･メレクにこう命じた。「ここから 30 人の男たちを連れていって，預言者エレミヤが死なないうちに水ためから引き上げなさい」。 11 それでエベド･メレクは男たちを連れて王の家(*宮殿)に入り，宝物庫の下にある場所からぼ

ろ切れや布切れを取って，水ための中のエレミヤの所に縄で下ろした。 12 そしてエチオピア人エベド･メレクはエレミヤに言った。「どうぞ，ぼろ切れと布切れを脇の下に当てて，縄で擦れないようにしてください」。エレミヤはその通りにした。 13 彼らは縄でエレミヤを引っ張り，水ためから引き上げた。エレミヤはその後も「監視の庭」にいた。を読んでいるとします。エチオピア人エベド･メレクが預言者エレミヤを助けた場面です。エベド･メレクの勇敢で仲間思いの姿勢に感銘を受けて，どうしたら見習えるかをすぐに考えるかもしれません。でも，ちょっと待ってください。ここから**エホバについて**どんなことが学べるでしょうか。（エレミヤ 39:15-18 エレミヤがまだ「監視の庭」に拘束されていた時，エホバが彼に語り掛けてこう言った。 16 「行って，エチオピア人エベド･メレクに言いなさい。『イスラエルの神，大軍を率いるエホバはこう言っている。「私はこの都市に対して語った言葉を実現させ，良いことではなく災いをもたらす。その日，あなたはそれを目の当たりにする」』。 17 『しかし，その日に私はあなたを救う。あなたは，あなたが恐れている人々の手に渡されることはない』と，エホバは宣言する。 18 『**私が必ず逃れさせる**ので，あなたは剣によって倒れることはない。**私に頼ったので**，あなたは**死ぬことなく逃れる**(*自分の命を戦利品として得る)』と，エホバは宣言する」。を読む。）このストーリーを読み込んでいくと，エホバが感謝の念が厚く，偏見のない，いつも正しいことをする方だということが見えてきます。どの節からそれが分かるでしょうか。ほかにもエホバについてどんなことが分かるでしょうか。聖書を読む時はいつもこんなふうに，エホバの新たな魅力を探るようにしましょう。そうすると，エホバって本当にすごい，エホバのために何かしたい，という気持ちになります。



エベド･メレクが勇敢に，水ために入れられたエレミヤを助けている。（12-13 節を参照）

14. エホバが造ったものからしっかり学ぶにはどうすることが大事ですか。

14 2 つ目に，エホバが造ったものからも，エホバについて学べます。（詩 145:9，10 エホバは全てのものに対して善いことを行う。 **神の憐れみ**は**全ての行いにはっきりと表れて**いる。 10 エホバ，あなたが造ったものは皆，あなたをたたえます。 **あなたに尽くす**(*を揺るぎなく支持する/から離れない)人たちは**あなたを賛美**します。）とはいえ，ただ観察すればいいわけではありません。自然を観察し，研究することに生涯をかけて取り組んでも，神の性格を知るどころか，神がいることすら信じない人もいます。でも，パウロははっきりこう言っています。「神の見えない性質は，世界の創造以来明らかです。造られた物を見れば……確かに神であるということが***分かります***」。（ロマ 1:20 **神の見えない性質**は，**世界の創造以来明らか**です。**造られた物を見れば，神が永遠に力を持**っていて，**確かに神**であるということが**分かり**ます。ですから，彼らは**言い訳ができません。**）ある翻訳によれば，神の性質は「理性の目には……見えています」と言い換えること

もできます。それで自然を観察する時，理性的によく考えることが大切です。そうすれば，エホバがどんな方かがはっきり見えるようになってきます。

15. パトリック兄弟は，エホバについてよく知るためにどんなことをしていますか。あなたはどんなことをしてみたいと思いますか。（写真も参照。）

15 とはいっても，ほとんどの人は周りに自然があまりない都会に住んでいます。では，そういう中でどうすればエホバが造ったものからエホバについてもっと知ることができますか。コンゴ民主共和国のブラザビルという都市に住むパトリック兄弟はこう言っています。「ベランダからエホバが造ったものを観察するようにしています。よく小さい昆虫とか鳥たちが食べ物を一生懸命見つけているのを目にします。ある時，鳥がひなのために巣を作っているのを見ました。周りにあるいろんな材料をかき集めて，すごく立派な巣を作っていたんですよね。本当にすごいなぁと感じました」。でも，パトリック兄弟はただ昆虫や鳥を観察するだけでは終わりませんでした。こうも言っています。「鳥とか虫とか，そういうちっぽけな生き物もエホバが大切にして世話していると思うと，エホバはなおさら自分を養ってくれる，支えてくれると思えて，本当にほっとします」。



エホバが造ったものを観察し，じっくり考えると，
エホバについてよく分かる。（15 節を参照）

16. イエスの母親マリアは，どうやってエホバをもっとよく知るようになりましたか。私たちはどんなふうにマリアに見習えますか。（写真も参照。）

16 3 つ目に，自分が経験したことからもエホバについてよく知ることができます。イエスの母親マリアはそうしました。マリアはエホバをよく知っていて「神の恵みを得」ていました。（ルカ 1:30 天使は言った。「**マリア**，恐れることはありません。**あなたは神の恵みを得ました。**）でもある時，神の子を育てるというとても重い責任を任されます。エホバは，天使ガブリエルや親戚のエリサベツを通してそんなマリアを励まします。マリアはとてもありがたく思ったに違いありません。それだけではなく，自分が経験したことをしみじみ考えて，エホバについて何が学べるかを思い巡らしました。エホバが立場の低い人を優しく気遣う，とても頼りになる方だということを考えたはずです。（ルカ 1:46-55 マリアはこう言った。「私はエホバをあがめ， 47 私の心は救い主である神のおかげで喜びにあふれます。 48 神は**低い立場にある奴隷の私に目を留め**てくださったからです。今後，あらゆる世代の人々が**私を幸せな人**と言います。 49 **強力な神**が**素晴らしいことをし**てくださったからであり，その方の**名は聖なるもの**です。 50 いつの時代も，神は**ご自分を畏れる人々**に**憐れみを示され**ます。 51 神は**力強い腕で物事を行い，傲慢な心を持つ者たちを散らされ**ました。 52 **権力を持つ人たちをその座から降ろし，身分の低い人たちを高**くされました

。 53 **飢えた人たちを良いもので**十分に満たし，**裕福な人たちを何も持たせずに去**らせました。 54 神はご**自分に仕えるイスラエルを助けに来**られました。**憐れみをお忘れになりません**。 55 父祖たちにお告げになった通り，**アブラハムとその子孫**に**憐れみを永久に示される**のです」。）私たちも同じようにできます。エホバがぴったりのタイミングで自分を支えてくれたと感じるとき，その経験からエホバについて何が学べるかを考えるようにしましょう。（ヘブ 4:16 それで，助けが必要な時に憐れみと惜しみない親切を受けられるよう，**気後れすることなく祈り，惜しみない親切を示してくださる神**(*惜しみない親切の座)**に近づき**ましょう。）そうすると，もっともっとエホバのことをよく知っていけます。



エホバが自分をどう助けてくれたかしみじみ思い返すと，エホバについてよく分かる。（16 節を参照）

*写真や挿絵: **悩みを抱えている兄弟**が，**エホバのおかげ**で**集会の話ができた以前の経験**を思い出している。

エホバを知ることに終わりはない

17-18. エホバを知ることに終わりはありません。どうしてですか。

17 私たちは将来の新しい世界でもエホバについて**知り続ける**ことができます。その時を想像してみてください。**新しい巻物**をもらって，エホバについて学んでいけます。（啓 20:12 さらに見ると，死んだ人々が，大きな者も小さな者も，王座の前に立っており，数々の巻物が開かれた。別の巻物，すなわち命の巻物も開かれた。死んだ人々は，数々の巻物に書かれている事柄に基づき，各自の行いに応じて裁かれた。）雄大な自然の中で，エホバの作品を存分に楽しむこともできます。（イザ 11:6-9 オオカミが子羊と共に過ごし， ヒョウが子ヤギと共に寝そべる。 子牛とライオンと肥えた動物が皆一緒にいて(if*子牛とライオンが一緒に食べ)， 小さな子供に導かれる。 7 雌牛と熊が一緒に食べ， 子牛と子熊も共に寝そべる。 ライオンが雄牛のようにわらを食べる。 8 乳児がコブラの巣の上で遊び， 乳離れした子が毒蛇の巣穴の上に手を置く。 9 **私の聖なる山のどこにも， 荒らしたり危害を加**えたりする**ものはいない。 水が海を覆っている**ように， **エホバについての知識**が**必ず地上に満**ちるからである。）エホバが毎日毎日素晴らしい経験をさせてくれます。亡くなった大切な人たちと再会し，自分自身も完全になっていくという体験ができます。

18 エホバについて知ることに終わりはありません。エホバはずっと存在していて「その方の理解力は計り知れ」ません。（詩 90:2 あなたは山々が生まれる前から， 地球と大地を生み出す(*陣痛を伴って産む)前から， **永遠から永遠まで神**です。; 147:5 私たちの主は偉大で力強い方。 その方の**理解力は計り知れない**。）私たち人間には「真の神の行いを決して知り尽くすこと」はできません。（伝 3:11 神は**全て**を**適切な時に美しく**した(*に組織した/に整えた/に配置した)。神は人に，**永遠を思う心さえ与**えた。**それでも**人は，**真の神の行い**を**決して知り尽くす**(*を始まりから終

わりまで決して知る)ことが**ない**。）それで，何年エホバに仕えてきたとしても，これからもエホバをもっとよく知って，もっと好きになっていきましょう。

振り返ってみましょう

１．エホバをよく知るとはどういうことですか。
・S04　ただエホバという名前の神がいることを知るだけではなく、エホバがどれほど魅力的な方かをよく知るということ。
・S05　ヨシヤはエホバをよく知るために単に知識を頭に詰め込むだけではなく、学んで分かったエホバの**気持ちに合わせて行動**し、エホバはヨシヤを絶賛した。

２．エホバについて知り続けるのが大切なのはどうしてですか。
・S08　エホバのことをよく知っていくと、エホバという最高の友達がいることがどれほどありがたいか、よく分かるようになる。
・S10　エホバの性格について学べば学ぶほど、どんなふうにエホバに見習うといいかが分かってきて、エホバに**見習った人間性**を身に付けることができる。

３．どうやってエホバをよく知っていけますか。
・S11　①聖書から、②エホバが造ったものから、エホバについて学び続ける。
・S12　まず聖書を読んで、エホバの性格について説明や人間模様が描かれている聖句などから学び続けることができる。
・S14　２つ目にエホバが造ったものからも学べるが、自然を観察する時、理性的によく考えるなら、エホバがどんな方かがはっきり見えるようになってくる。
・S16　３つ目に、自分が経験したことからもエホバについてよく学べる。エホバがぴったりのタイミングで自分を支えてくれたと感じるときの経験から、エホバについて何が学べるかを考えるようにする。

28 番の歌 エホバの友となる

^ 「新世界訳聖書」の「初めて聖書を読む方へ」の質問 20 を見てください。（聖書を読む時どんなことを心掛けるとよいですか？聖書を読みながら以下のことを考えましょう。①ここからエホバ神についてどんなことが分かるか、②この部分は聖書の中心テーマとどう関係しているか、③自分の生活でこれをどのように役立てられるか、④人を支え励ますためにこの言葉をどのように使えるか。）

^ 「いつまでも幸せに暮らせます」の本のレッスン 7 のポイント 5-7 をご覧ください。

^ 写真や挿絵: 悩みを抱えている兄弟が，エホバのおかげで集会の話ができた以前の経験を思い出している。